

## 6年生を送る会



8日(火)に予定していた「6年生を送る会」ですが、インフルエンザの影響で

11日(金)に延期して行いました。

1学期に全校で歌った「世界に一つだけの花」の歌が流れる中、6年生が少し照れながら花のアーチをくぐって入場してくるところを拍手で迎えました。



最初に5年生が、十東小の生活を振りかえる寸劇を見せてくれました。続いてふれあい班に分かれて、十東小クイズを行いました。班の中で相談しながら仲良く問題を解いていきました。これが、今年度のふれあい班での最後の活動となりました。



クイズが終わってから3学期練習してきた「じゃあね」を全校で合唱しました。卒業に向けてのそれぞれの思いがこもったすばらしい歌声になりました。



次に先生からの歌のプレゼントとして、「365日の紙飛行機」を合唱しました。昨年はこのときに6年間の歩みの写真を映していましたが、「ゆっくり見ることができなかった」という声が多かったので、今年は歌が終わってから思い出の写真を見てもらいました。



この後、在校生がプレゼントを渡しました。2年生がお礼の言葉を書いたペンダントを渡しました。続いて、同じふれあい班の1年生から5年生が作った寄せ書きを5年生が代表して渡しました。プレゼントをもらった6年生は、うれしそうにすぐにメッセージを見ていました。



最後に私(校長)から次のメッセージを全校に送りました。

4月の「1年生を迎える会」でスタートし、この「6年生を送る会」まで、いつも1年生から6年生まで一緒になってがんばってきました。そんな中、いつも6年生が中心になって全校のことを考えて取り組んでくれたおかげで、こんなに仲のいい十東小になりました。1年生から5年生は、今日そのお返しことができました。この心のつながりは、一生忘れることはないと思います。卒業式まであと少しです。それぞれが今の気持ちを大切に、残りの期間も協力して、すばらしい十東小をこれからにつなげていってください。

こうして「6年生を送る会」が終わり、入場の時と同じように花のアーチが作られている中、6年生が退場していきました。入場の時とは表情が変わり、感動、喜び、自信にあふれていました。卒業式、そして、中学校での新しい生活への意欲が高まったようです。